

中央図書館では、市川市の地域行政資料を広く収集し保存しています。当然、市川市に関するレファレンスも多く、地域行政資料を活用して質問に応じています。

レファレンス事例

I/M1 『市川市統計年鑑』の創刊年を知りたい。

⇒図書館が所蔵している一番古い「市川市統計年鑑」昭和40年版の「はしがき」を見ると、当時の市川市長（浮谷元吉）が第1回を刊行する旨、記載されている。

I/M1 市川市の昭和40年より前の出生人口・転入・転出者数が知りたい。

⇒昭和39年以前の統計を調べる場合は、『市川市市勢要覧』（裏面参照）。

I/C2 市川市が昭和9年11月に合併したときの「市川町」の読み方を知りたい。

⇒"昭和9年11月、市川町、八幡町、国分村、中山町の3町1村が合併して市川市が誕生した。『市川市史』（市川市 1971-1975）、市川のまち：地名の由来』（市川市）など、郷土資料分類の「市川の歴史」「市川の地理」の書架にあたるが該当なし。
『広報いちかわジュニア版 Vol.3』（市川市）によると、市川オモシロ大図鑑「市川の市名決定秘話」の項に総ルビで記述あり。それぞれ、市川町（いちかわまち）、八幡町（やわたまち）、国分村（こくぶんむら）、中山町（なかやままち）。"

I/C2 市川市の事務改善審議会（昭和35年）と、行政事務改善委員会（昭和55年）について調べるには、どんな文献を探せばよいか。

⇒『市勢概要』昭和41年・55年に記述あり。昭和35年3月に事務改善審議会を設置。昭和41年5月から事務改善委員会に改称。昭和55年5月市川市事務改善委員会規定を一部改定し、市川市行政事務改善委員会に改称。昭和41年から『市勢概要』に「行政事務の近代化」の項があり。現在は行政改革推進課が担当。「行政事務の改善」として毎年報告している。
なお『審議会等会議録』のファイルは平成11年度より所蔵している。

図書館で探している主な行政資料

図書館では、以下の資料は、探していますが、未だ見つからず、あるいはその存在が確認できないものです。ご存知の方はご教示ください。

『市川市議会議事録』⇒昭和17年以前の記録。または市川町時代の町議録など。

※昭和35年6月以降の簡易製本版は所蔵があります。

※昭和17年5月から昭和35年5月までの筆写版は所蔵あり。そのうち昭和17～23までを製本済み。

『庁内日報』⇒創刊号からNo.43

※昭和53年から昭和59年にかけて、広報公聴課が行っていた市川市に関する新聞記事をスクラップして印刷した庁内回覧紙です。

『市川市職員録』⇒創刊～昭和52年、昭和63年から平成2年

※個人情報ですが、図書館では資料として保存しています。

『市川の教育』⇒1966（昭和41）から1978（昭和53）にかけて

※『市川市の教育』の前身です。

※昭和41年および昭和47年（第6集）のみ所蔵があります。

図書館で所蔵する貴重な地域行政資料から、その一部ご紹介します。



市勢要覧

市の情勢や現況を、写真や図などを使って分かりやすくまとめたものです。左写真のように、初期は小冊子に近いものでした。市川市誕生は、昭和9年11月3日、市川町・八幡町・中山町・国分村の3町1村が合併し、千葉県では千葉市・銚子市に次ぐ3番目の市として誕生しました。人口は40,869人。したがって「市川市」としての市勢要覧は、翌年の昭和10年から刊行されていることとなります。

- ① 1935 (昭和10) 年版 市川市福利課／編
図書館が所蔵する一番古い版です。これは、市川市全図1枚の裏側に、市の沿革、旧跡、や統計の数値をすべてまとめたものです。数字もすべて漢数字で縦書きとなっています。
- ② 1936 (昭和11) 年版
20ページの横長、ホチキス綴。市内旧跡の白黒写真が巻頭に掲載されるようになりました。
- ③ 1941 (昭和16) 年版 29ページ
- ④ 1943 (昭和18) 年版 28ページ
当時の市川市役所の写真が掲載されています。
- ⑤ 1949 (昭和24) 年版 68ページ
ページ数も増え、本のサイズで刊行されるようになりました。戦後ですから、戦災・引揚者・復員者の統計数値があったりします。「市川市歌」が巻頭に掲載。人口は9万7千人。
- ⑥ 1952 (昭和27) 年版『市川市勢要覧 附：商工名鑑』
市川市役所経済課／編
「市川音頭」の歌詞が掲載されています。

『市川市勢総覧』 (⑦参照)

市制施行後の昭和9年12月20日に、市川市勢調査会により452ページの大部で編集・刊行されています。これは市川市史、市政概要、商工年鑑等をすべてあわせたものに相当するもので、巻末には人物編として120ページ追加されており、ここには当時の市の名士292名の略歴まで掲載されています。

以下、当時の市制施行と総覧刊行の喜び知るために、序文を掲載します。

市川市制度の實現、吾人は四萬市民と共に齎しく歡。

茲に之を永久に記念し古代市川の史蹟を訪ね、寒村市川の姿を録め更に四々町村合併による統制的現市川市勢の調査によりて得たる全資料を包容する一卷を公にす。

蓋し本書によりて自然の市川より都市市川迄の全豹を知るの筈蹄たり。

教育資料として、自治便覧として、且つは獵奇讀本として、決して無意義ならざるを待む。幸にして大方諸賢の御高評に献ふ。

凡そ事の踏襲は易くして創設は困難なり、此事業たる又我調査會に於ける^{とど} 茲然の努力たり、惜しむらくは市創生の時代にして何等の統一的資料なくその編成に於て憾みなしとせざるも了とせらるれば多幸。尚本書の編纂に多大の御盡力を賜はりし諸士に衷心より感謝する次第である。



その後、「市川市勢要覧」というタイトルでの刊行はなくなり、行政概要については『市政概要』、統計に関しては『市川市統計年鑑』、市民広報用として『グラフ市川』等に別れて発刊されています。